

C-1 指導案

1 題材 おはなしをつくろう

2 本時の学習

(1) 題目 なにをしているのかな？

(2) 本時のねらい

- ・絵カードを見て、その内容をひらがな単語カードを用いて四語文に構成する。【知識・理解】
- ・一人で一連の課題に取り組む。【関心・意欲・態度】

(3) 準備、教材等

数字カード、課題用ボックス(「提示用」「おわり用」)、なぞり用ひらがな文字型、ホワイトボード用マジック、絵カード数種、ひらがな単語カード、文構成枠、ベル

(4) 本時の展開

時間 (分)	学習内容	指導の手だて・支援	評価規準 【観点】(評価方法)
1	1 あいさつする。 本時の課題を知る。	・数字カードと教材を順に並べて置く。 ・教材を順に指さし、最後の教材で「おしまい」と伝える。	
5	2 ひらがな文字を書く練習をする。 (自分の名前7文字)	・正しいマジックの持ち方を身体補助してから、一人で書くように促す。 ・筆跡がなぞり用文字型からはみ出していたら、その箇所を指し「きれいに書こうね」などと声かけする。	・文字すべてを一人でなぞる。 【関・意・態】 (行動観察)
5	3 三語連鎖の文を構成する。 ①絵カードを見て、三語文を単語カードで構成する。	・主語、目的語、述語のカテゴリーごとに単語カードを分類して置いておく。 ・予め助詞の記入してある文構成枠を提示し、主語・目的語・述語の順で単語カードを構成するように促す。	・自らカードを選んで文構成枠に置く。 【関・意・態】 (行動観察)
8	4 四語連鎖の文を構成する。 ①教師の四語文を聴き、それに対応した絵カードを選ぶ。 ②絵カードを見て、四語文を単語カードで構成する。	・絵カードの内容について、身振りサインとともに一緒に音声で表現する。 ・『「～が～に～を～する」はどれ?』と尋ね、見守る。 ・正しく選んだらタイミングよくベルを鳴らす。 ・主語、目的語など4つのカテゴリーごとに単語カードを分類して置いておく。 ・例の絵カードの内容を音声で文章化し、「～が～に～を～する」の順に、文構成枠に単語カードをおく作業を示範する。 ・絵カードを提示し、自分で構成するように促し、見守る。 ・間違っ構成していたら、主語から順番に絵カードの部分に対応させて一緒に確認し、正しく置き直すよう促す。	・正しく4語の単語カードをおく。(5施行中4施行) 【知・理】 (文構成枠上の単語配列)
1	5 あいさつする。	・課題がすべて「おわり」ボックスに入っていることを確認し、がんばったことを褒める。	